

# 特別支援学校における学習評価の考え方や進め方に関する研究・開発

## ～知的障害教育における観点別評価を活用した指導と評価の一体化に向けて～

令和 7 年 2 月  
東京都教育委員会

## I 研究主題設定の理由

### 1 学習評価の充実

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領及び特別支援学校高等部学習指導要領（以下、「学習指導要領」という）においては、学習評価について、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、授業の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすることが示されている。

### 2 特別支援学校における学習評価

小学校・中学校、高等学校及び特別支援学校の全ての教科等の目標及び内容が、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す資質・能力の三つの柱で再整理されたことを受け、観点別学習状況の評価の観点についても、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。

知的障害特別支援学校においても、小・中・高等学校との学びの連続性を重視する観点から、学習評価においては観点別学習状況を踏まえた文章による記述が求められている。学習評価は学習指導とともに学校の教育活動の根幹となるものであり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っていることから、各学校における充実が喫緊の課題となっている。

本研究では、3年間にわたり、知的障害特別支援学校における学習評価の考え方を整理するとともに、3観点による評価を指導の改善に生かす方法について事例を通して研究してきた。また、小学部及び中学部の全ての教科を取り上げ、評価場面や評価方法、観点別学習状況の評価の総括等について研究を行った昨年度に引き続き、今年度は高等部の一部の教科について単元の評価例の開発を目指して研究に取り組んだ。

## II 研究の目的

知的障害教育における学習評価の考え方を具体的に整理するとともに、観点別学習状況の評価の3観点による評価を指導の改善に生かす方法や事例について、研究・開発を行う。

## III 研究の方法

### 1 知的障害教育における学習評価の基本的な考え方の整理

令和4年度及び令和5年度の研究成果を踏まえ、知的障害特別支援学校において観点別学習状況の評価を実施する際の考え方を整理した。具体的には、「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価を行う際の具体的な見取り方や、「主体的に学習に取り組む態度」の評価基準の設定や達成状況の捉え方について、高等部における事例を取り上げて研究し、知的障害教育における学習評価のPDCAの流れを明確化した。

### 2 単元の構成から評価の総括までの流れの整理

昨年度までの研究において、小学部、中学部の全ての教科の単元計画例を作成し、都立特別支援学校で共有できるようにした。今年度は高等部の国語、数学、職業、音楽の単元計画及び評価計画を作成した。これらを用いて、教科ごとの評価基準の例や、3観点で評価を行う際の具体的な方法について研究を行い、評価の総括を行うまでの流れを整理した。

## IV 研究の成果

### 1 観点別学習状況の評価の要点

知的障害特別支援学校における各教科の学習の記録については、学習指導要領に示されている各教科の目標、内容に照らし、各教科の評価の観点及びその趣旨を踏まえ、具体的に定めた指導内容に対する実現状況等を文章で端的に記述することとされている。

本研究では、知的障害特別支援学校の各教科について、観点別学習状況の評価を行う際の評価の見取り方の要点を以下のように整理した。

#### 【事例】小学部第4学年 算数科 1段階

##### 1 単元名 「ともだちに くばろう」（さんすう☆ P34～P35）

##### 2 内容のまとまり

【1段階】 B 数と計算 A 数えることの基礎

##### 3 単元の目標

- 3までの範囲で具体物を取ることができ、対応させてものを配ることができる。【知識及び技能】
- 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。【学びに向かう力、人間性等】

##### 4 単元の評価基準

| 知識・技能                 | 思考・判断・表現                             | 主体的に学習に取り組む態度                           |
|-----------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------|
| ・3までの範囲で具体物を取ろうとしている。 | ・数詞とものとの関係に注目している。                   | ・学習のめあてを理解し、算数の学習に関心をもって粘り強く取り組もうとしている。 |
| ・対応させてものを配ろうとしている。    | ・数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かそうとしている。 |                                         |

##### 5 児童の実態等 ●●●●●

##### 6 単元の流れ（6時間扱い）

| 時                    | 学習活動                        | 指導上の留意点 | 評価基準・評価方法等                    |
|----------------------|-----------------------------|---------|-------------------------------|
| 【第1次】<br>第1時～<br>第2時 | ○友達の数に応じた数のりんごを取り、配る。（1～2個） | ○…      | ○…（知・技）<br>○…（思・判・表）          |
| 【第2次】<br>第3時～<br>第6時 | ○友達の数に応じた数の具体物を取り、配る。（1～3個） | ○…      | ○…（思・判・表）<br>○…（知・技）<br>○…（主） |

### 3 ②でまとめた児童の変容を、評価基準に照らして「評価の実際」として要約し、評価の総括をする

#### 7 評価の実際

- 「知識・技能」の評価  
・「いち・に・さん」の言葉掛けに合わせて、具体物を指差したり、かごに入れたることができるようになった。（その他は省略）
- 「思考・判断・表現」の評価  
・3までの範囲で、数詞だけの指示でも自分で考えて「いち」「に」「さん」と数唱しながら、具体物を取ることができるようになった。（その他は省略）
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価  
・学習のめあてが分かり、活動に繰り返し取り組む姿が見られるようになった。（その他は省略）

#### 8 観点別学習状況の評価の総括

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|----------|---------------|
| （省略）  |          |               |

単元を通して観点別学習状況の評価を行うモデルとして、評価計画に定めた場面で、評価基準に即して観点ごとに児童・生徒の変容を見取り、『評価の実際』としてまとめるまでの流れを整理した。

- 教員間のやり取り等を通じて、授業場面での児童の変容を挙げる  
（下線）…知識及び技能に関する内容  
（波線）…思考力、判断力、表現力等に関する内容  
（二重線）…学びに向かう力、人間性等に関する内容

ここでは、第2次の第3時終了後に、児童の変容について、教師がやりとりをしている場面を例として示す

#### 【ポイント】

第2次の第3時で、「知識及び技能」の習得状況を把握する評価計画を立てている場合、「知識・技能」の評価基準に照らして、児童の達成状況を見ていくことを指導前に教師間で確認しておくことが大切です。



教師A

「3」という数が分かって、かごに入れていました。

教師A

数を数えながら、友達の前にはりんごやジュースを配るようになってきましたね。



教師B

### 2 第2次のそれぞれの場面で評価したものをまとめる

#### 【知識・技能】

「3」という数が分かって、かごに入れていました。（その他は省略）

#### 【思考・判断・表現】

朝の会の名前呼びの場面で友達の写真カードを指差し、「いち・に・さん」と言うようになりました。（その他は省略）

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

学習のめあてが分かり、友達にりんごを配る活動に、最後まで繰り返し取り組んでいました。（その他は省略）

「主体的に学習に取り組む態度」の評価においては、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することとされている。本研究では、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行う際の要点を以下のように整理した。

